

介護福祉学科30周年記念

明日の介護を考えるシンポジウム



松本短期大学介護福祉学科は、全国の短大に先駆けて平成5年に開設し、今年度30周年を迎えました。その間約2300人の介護福祉士が巣立ち、介護福祉現場で活躍しています。

このシンポジウムでは、新しい介護福祉の方向性について、地域の皆さま、介護福祉現場の皆さま、介護福祉を学ぶ学生とともに考えたいと思います。

日時 令和5年3月18日(土) 午前10時～12時

場所 松本短期大学 601教室

シンポジスト紹介



清澤 秀彦 氏

社会福祉法人「梓の郷」統括施設長 介護老人福祉施設「サルビア」施設長

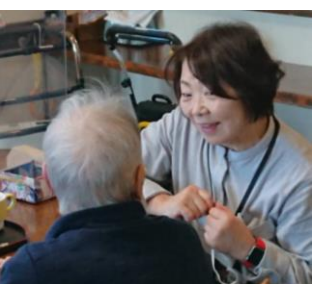
施設は入所ではなく「住み替え」、介護が必要になっても「私らしい人生の継続」「施設は地域のためのもの」という考え方で、利用者さんと地域の人たちの暮らしを支援できるように試行錯誤しています。



小宮山 圭 氏

パーソナルスキンケア「リセ」主宰 日本ケアセラピスト協会認定講師

長野県の多くの介護福祉現場で、ケアセラピスト(ハンドコース・フットコース)が活躍し、皆さんに癒しとスキンケア、血行の改善などのトリートメントが提供できるようになればと願っています。



窪田 敬子 氏

地域密着型通所介護 お元気ステーション「とれぼる」生活相談員、管理者

松本市笹賀にある機能訓練型デイサービスで、高齢者の皆さんが歩行訓練、家事動作、脳トレ、制作活動、外出などいろいろな活動を気軽に楽しんでいただけるように工夫して行っています。利用者さんの「ここに来れば～」という言葉がやりがいです。



福田 明

松本短期大学介護福祉学科 教授 同短期大学介護福祉学科4期生

このシンポジウムでは、介護福祉士が担う「介護」はどうあるべきか、これからの「介護」を拓くために必要な要素は何か、本学での教育実践例も踏まえながら考えてみたいと思います。

コーディネーター 合津 千香 松本短期大学介護福祉学科 教授

参加申込み

3月13日(月)までに 松本短期大学 0263-58-4417(代表)へお電話でお申し込みください。